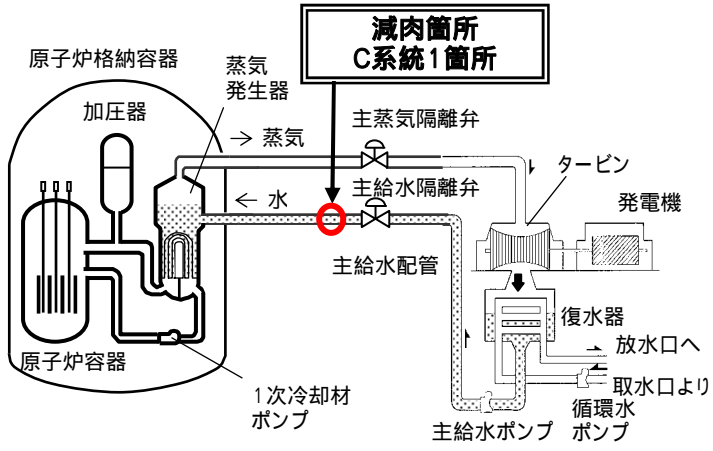


大飯発電所2号機の定期検査状況について (2次系主給水配管曲がり部の減肉の原因と対策)

系統概要図



測定結果

配管形状	必要最小厚さ	実測最小値
A-主給水配管曲がり部(45°)	15.7mm	21.0mm
B-主給水配管曲がり部(90°)		21.5mm
C-主給水配管曲がり部(90°)		10.9mm
D-主給水配管曲がり部(90°)		19.0mm

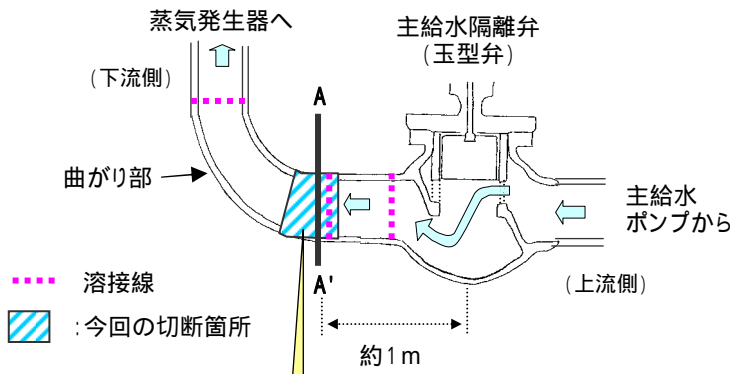
定点測定(8点)にて減肉が確認された周辺を、詳細(約20mmピッチ)に測定した値

配管仕様

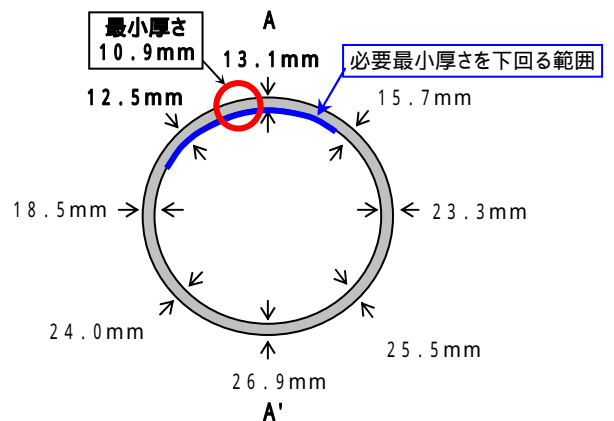
外 径: 約406mm
 厚 さ: 約21mm
 最高内圧: 約8MPa
 最高温度: 約230
 材 質: 炭素鋼
 流 量: 約1,700t/h・系統

C - 主給水配管曲がり部の減肉状況、内面調査結果

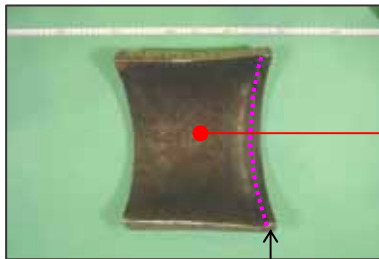
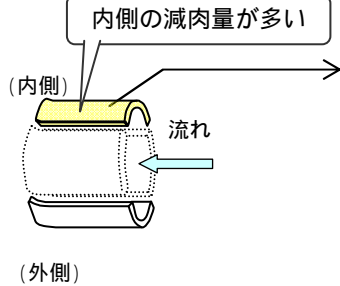
曲がり部(90°)イメージ



(C - 主給水配管曲がり部を下流側から見た断面)



内面目視点検



流れ加速型腐食にみられる鱗片状の模様

対 策

当該曲がり部については、同寸法、同材料の配管に取り替える。また、信頼性向上の観点から、主給水隔離弁下流の曲がり部(A~D)について、耐食性に優れた低合金鋼への取り替えを計画する。